

【表紙】

| | |
|------------|----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成26年8月14日 |
| 【四半期会計期間】 | 第33期第1四半期（自平成26年4月1日至平成26年6月30日） |
| 【会社名】 | セントケア・ホールディング株式会社 |
| 【英訳名】 | SAINT-CARE HOLDING CORPORATION |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 森 猛 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都中央区京橋二丁目8番7号 |
| 【電話番号】 | 03-3538-2943（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部長 瀧井 創 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都中央区京橋二丁目8番7号 |
| 【電話番号】 | 03-3538-2943（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部長 瀧井 創 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第32期 第1四半期 連結累計期間 | 第33期 第1四半期 連結累計期間 | 第32期 |
|------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日 | 自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日 | 自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日 |
| 売上高 (千円) | 7,706,314 | 8,162,845 | 31,452,641 |
| 経常利益 (千円) | 404,688 | 343,977 | 1,692,181 |
| 四半期(当期)純利益 (千円) | 206,332 | 107,131 | 960,126 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 208,620 | 109,700 | 963,810 |
| 純資産額 (千円) | 4,613,915 | 5,352,427 | 5,293,522 |
| 総資産額 (千円) | 14,059,201 | 15,172,155 | 15,319,445 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | 28.70 | 14.90 | 133.56 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | 28.47 | 14.77 | 132.39 |
| 自己資本比率 (%) | 31.8 | 34.3 | 33.6 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、新たに決定又は締結した経営上の重要な契約等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済が緩やかに回復しつつあるなか、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動も和らぎつつあり、緩やかな回復基調が続いております。

介護サービス業界では、引き続き国内の高齢化が進むなか、介護サービス受給者数及び介護給付費が増加し、介護サービス需要は高まっております。その一方で、看護師等の有資格者をはじめ、人材の確保が難しい状態が続いております。

このような状況の中で当社グループでは、人材採用を引き続き強化すると同時に、新規に開設した営業所の集客に注力したことにより、売上は堅調に推移しました。しかしながら、消費税率引上げに伴い控除対象外消費税額等（仕入税額控除のできない仮払消費税等の額）の売上原価が増加し、また、メディカルサービス事業等の新規事業の立ち上げ準備に伴い販売費及び一般管理費が増加しました。

この結果、売上高は81億62百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益は3億38百万円（同17.0%減）、経常利益は3億43百万円（同15.0%減）となりました。また、四半期純利益は税金費用が増加したことなどにより1億7百万円（同48.1%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次のとおりであります（セグメント間取引を含む）。

・介護サービス事業

施設系サービスでは、主に前連結会計年度に開設したショートステイの拠点での集客が進みました。また、訪問系サービスでは、主に訪問看護サービスにおいて営業所の新規開設や新規お客様の獲得に注力した結果、お客様数の増加につながりました。その結果、売上高は79億15百万円（前年同期比5.4%増）となりましたが、その一方で、事業規模の拡大及び有資格者の確保・育成を目的として新規学卒者の採用数を増やしたことや正社員雇用を促進したことなどにより人件費が増加しており、営業利益は2億50百万円（同17.9%減）となりました。

・その他

その他では、セントワークス株式会社において介護保険請求ASPシステムの販売が順調に推移した結果、売上高は3億51百万円（同14.8%増）、営業利益は52百万円（同41.9%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当社グループは、今後展開する事業活動のための資金確保を前提とした、健全なバランスシートの維持に努めることを財務方針としております。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末（以下「前期末」という）より1億47百万円（前期末比1.0%）減少し、151億72百万円となりました。

流動資産は、前期末より2億24百万円（同3.6%）減少し、60億67百万円となりました。これは主に売掛金が1億68百万円増加した一方で、現金及び預金が3億63百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前期末より77百万円（同0.9%）増加し、90億5百万円となりました。これは主に投資その他の資産が61百万円減少した一方で、有形固定資産が1億41百万円増加したことによるものであります。

流動負債は、前期末より28百万円（同0.6%）減少し、44億84百万円となりました。これは主に未払金が2億93百万円増加した一方で、未払法人税等が3億36百万円減少したことによるものです。

固定負債は、前期末より1億77百万円（同3.2%）減少し、53億34百万円となりました。これは主にリース債務が1億98百万円増加した一方で、退職給付に係る負債が1億81百万円、長期借入金が1億69百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前期末より58百万円（同1.1%）増加し、53億52百万円となりました。これは主に利益剰余金が57百万円増加したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 24,300,000 |
| 計 | 24,300,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年6月30日) | 提出日現在 発行数(株) (平成26年8月14日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|---------------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 7,188,600 | 7,188,600 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数 100株 |
| 計 | 7,188,600 | 7,188,600 | | |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|--------------------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成26年4月1日～ 平成26年6月30日 | | 7,188,600 | | 1,009,839 | | 841,789 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年6月30日現在

| 区分 | 株式数（株） | 議決権の数（個） | 内容 |
|----------------|----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式（自己株式等） | | | |
| 議決権制限株式（その他） | | | |
| 完全議決権株式（自己株式等） | | | |
| 完全議決権株式（その他） | 普通株式 7,187,800 | 71,878 | |
| 単元未満株式 | 普通株式 800 | | |
| 発行済株式総数 | 7,188,600 | | |
| 総株主の議決権 | | 71,878 | |

【自己株式等】

該当事項はありません。

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,936,534 | 1,573,052 |
| 売掛金 | ¹ 3,548,000 | ¹ 3,716,359 |
| たな卸資産 | 88,308 | 83,150 |
| 繰延税金資産 | 230,665 | 173,804 |
| その他 | 497,222 | 530,093 |
| 貸倒引当金 | 8,909 | 9,289 |
| 流動資産合計 | 6,291,820 | 6,067,170 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,986,171 | 1,953,685 |
| リース資産(純額) | 2,576,371 | 2,743,036 |
| その他(純額) | 455,413 | 462,804 |
| 有形固定資産合計 | 5,017,957 | 5,159,526 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | ³ 636,169 | ³ 596,871 |
| リース資産 | 25,183 | 21,915 |
| その他 | 352,850 | 393,169 |
| 無形固定資産合計 | 1,014,203 | 1,011,956 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入保証金 | 1,981,752 | 1,998,475 |
| その他 | 914,091 | 835,956 |
| 貸倒引当金 | 854 | 764 |
| 投資その他の資産合計 | 2,894,990 | 2,833,666 |
| 固定資産合計 | 8,927,150 | 9,005,149 |
| 繰延資産 | 100,473 | 99,835 |
| 資産合計 | 15,319,445 | 15,172,155 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 364,775 | 347,269 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | ² 853,142 | ² 820,408 |
| リース債務 | 108,522 | 111,167 |
| 未払金 | 2,003,785 | 2,297,484 |
| 未払法人税等 | 456,851 | 120,372 |
| 賞与引当金 | 344,260 | 166,346 |
| その他 | 382,160 | 621,828 |
| 流動負債合計 | 4,513,497 | 4,484,878 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | ² 1,701,647 | ² 1,532,101 |
| リース債務 | 2,676,429 | 2,874,592 |
| 退職給付に係る負債 | 854,085 | 672,951 |
| 資産除去債務 | 54,430 | 54,215 |
| その他 | 225,832 | 200,988 |
| 固定負債合計 | 5,512,425 | 5,334,849 |
| 負債合計 | 10,025,922 | 9,819,727 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,009,839 | 1,009,839 |
| 資本剰余金 | 841,789 | 841,789 |
| 利益剰余金 | 3,362,062 | 3,419,999 |
| 自己株式 | 57 | 57 |
| 株主資本合計 | 5,213,632 | 5,271,569 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 13,388 | 13,503 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 85,850 | 81,848 |
| その他の包括利益累計額合計 | 72,461 | 68,345 |
| 新株予約権 | 45,857 | 45,857 |
| 少数株主持分 | 106,493 | 103,346 |
| 純資産合計 | 5,293,522 | 5,352,427 |
| 負債純資産合計 | 15,319,445 | 15,172,155 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|-------------------|---|---|
| 売上高 | 7,706,314 | 8,162,845 |
| 売上原価 | 6,660,594 | 7,120,331 |
| 売上総利益 | 1,045,720 | 1,042,513 |
| 販売費及び一般管理費 | 638,239 | 704,161 |
| 営業利益 | 407,481 | 338,352 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,615 | 1,717 |
| 受取配当金 | 1,276 | 2,532 |
| 受取保険金 | 2,273 | 3,080 |
| 受取家賃 | 3,063 | 3,645 |
| 補助金収入 | 12,642 | 20,755 |
| その他 | 10,399 | 15,634 |
| 営業外収益合計 | 31,270 | 47,366 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 27,930 | 34,535 |
| リース解約損 | 354 | 1,849 |
| その他 | 5,777 | 5,355 |
| 営業外費用合計 | 34,063 | 41,741 |
| 経常利益 | 404,688 | 343,977 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 4,224 | 99 |
| 特別利益合計 | 4,224 | 99 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 3,332 | 3,538 |
| 投資有価証券評価損 | 2,825 | - |
| 特別損失合計 | 6,158 | 3,538 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 402,753 | 340,538 |
| 法人税等 | 194,659 | 234,954 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 208,094 | 105,583 |
| 少数株主利益又は少数株主損失() | 1,761 | 1,547 |
| 四半期純利益 | 206,332 | 107,131 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 208,094 | 105,583 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 525 | 114 |
| 退職給付に係る調整額 | - | 4,002 |
| その他の包括利益合計 | 525 | 4,116 |
| 四半期包括利益 | 208,620 | 109,700 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 206,858 | 111,248 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 1,761 | 1,547 |

【注記事項】

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を単一の加重平均割引率を使用する方法(デューレーション法)へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加算しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が202,795千円減少し、利益剰余金が130,519千円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ5,553千円増加しております。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

有形固定資産(建物及びリース資産を除く)の減価償却方法について、従来、当社グループは定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、近年の施設系サービスの増加により、施設系設備への投資が継続して高水準で推移していることを契機とし、見直しを行ったものであります。

当該見直しの結果、収益は長期安定的であること、修繕費が平準的に発生していること、今後も有形固定資産の安定的な利用が見込まれることを総合的に勘案し、定額法を採用した方が収益と費用の対応関係がより適切となり、当社グループの経営実態をより適切に反映させることができると判断し、当第1四半期連結会計期間において有形固定資産(建物及びリース資産)の減価償却の方法を定率法から定額法へ変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ17,343千円増加しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 債権譲渡残高

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|-----|-------------------------|------------------------------|
| 売掛金 | 1,384,000千円 | 1,485,100千円 |

2 財務制限条項

1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の合計額の内、以下の金額には財務制限条項が付されており、各条項のいずれかに抵触した場合には、当該借入金の適用利率の変更及び返済期間を短縮することがあります。

各年度の決算期の末日における連結貸借対照表の純資産の部の金額を当該決算日の直前の決算期の末日又は平成19年3月期の末日における純資産の部の合計金額のいずれか大きい方の75%以上に維持すること。

連結年度決算書において、損益計算書の経常損益の金額を2期連続して損失としないこと。

連結年度決算書において、有利子負債残高から現預金及び正常運転資金額を減じた金額を、当該連結決算期における経常利益の金額と償却費の合計金額から税金等支払額の合計金額を減じた金額で除して得た数値が10を上回らないこと。

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|--------------------------|-------------------------|------------------------------|
| 1年内返済予定の長期借入金 及び長期借入金 | 225,000千円 | 210,000千円 |

3 のれん及び負ののれんの表示

のれん及び負ののれんは、相殺表示しております。相殺前の金額は次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|-------|-------------------------|------------------------------|
| のれん | 639,447千円 | 600,078千円 |
| 負ののれん | 3,278 | 3,206 |
| 差引額 | 636,169 | 596,871 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん並びに負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日) |
|-----------|---|---|
| 減価償却費 | 124,204千円 | 122,052千円 |
| のれんの償却額 | 39,369 | 39,369 |
| 負ののれんの償却額 | 71 | 71 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成25年6月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 150,960 | 21 | 平成25年3月31日 | 平成25年6月27日 | 利益剰余金 |

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成26年6月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 179,714 | 25 | 平成26年3月31日 | 平成26年6月27日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------|-----------|-----------|------------|-----------|
| | 介護サービス事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 7,508,514 | 7,508,514 | 197,800 | 7,706,314 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 919 | 919 | 108,683 | 109,602 |
| 計 | 7,509,433 | 7,509,433 | 306,483 | 7,815,917 |
| セグメント利益 | 304,557 | 304,557 | 36,932 | 341,489 |

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣サービス、アウトソーシング受託サービス、調剤薬局のフランチャイズ、ペット及びペット用品販売、動物病院、介護保険請求ASPシステムの販売、少額短期保険業等の各事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 304,557 |
| 「その他」の区分の利益 | 36,932 |
| セグメント間取引消去 | 452,552 |
| のれんの償却額 | 71 |
| 全社費用(注) | 386,631 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 407,481 |

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------|-----------|-----------|------------|-----------|
| | 介護サービス事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 7,914,513 | 7,914,513 | 248,331 | 8,162,845 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 1,036 | 1,036 | 103,608 | 104,645 |
| 計 | 7,915,550 | 7,915,550 | 351,940 | 8,267,490 |
| セグメント利益 | 250,145 | 250,145 | 52,395 | 302,540 |

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣サービス、アウトソーシング受託サービス、調剤薬局のフランチャイズ、ペット及びペット用品販売、動物病院、介護保険請求ASPシステムの販売、少額短期保険業等の各事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

| 利益 | 金額 |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 250,145 |
| 「その他」の区分の利益 | 52,395 |
| セグメント間取引消去 | 479,463 |
| のれんの償却額 | 71 |
| 全社費用（注） | 443,723 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 338,352 |

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

（退職給付に関する会計基準等の適用）

会計方針の変更に記載のとおり、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を単一の加重平均割引率を使用する方法（デュレーション法）へ変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益が、「介護サービス事業」で5,851千円、「その他」で181千円それぞれ増加しております。

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

会計方針の変更に記載のとおり、有形固定資産（建物及びリース資産を除く）の減価償却方法について、従来、当社グループは定率法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益が、「介護サービス事業」で16,617千円、「その他」で363千円それぞれ増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|---|---|---|
| (1) 1株当たり四半期純利益金額 | 28円70銭 | 14円90銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 206,332 | 107,131 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 206,332 | 107,131 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 7,188,600 | 7,188,562 |
| (2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 | 28円47銭 | 14円77銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益調整額(千円) | - | - |
| 普通株式増加数(株) | 57,800 | 66,094 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | - | - |

(重要な後発事象)

1. 取締役に対する株式報酬型ストックオプション(新株予約権)の割当

当社は、平成26年6月26日開催の取締役会における決議に基づき、次のとおり平成26年7月14日開催の取締役会にて当社取締役に対して新株予約権を割当てする旨の決議をし、平成26年7月15日に割当てを行いました。

(1) 新株予約権の割当対象者及び割当てする新株予約権の総数

当社取締役8名 83個(新株予約権1個当たりの目的である株式の数は100株)

(2) 新株予約権の払込金額

新株予約権1個当たり139,500円

なお、当該払込みについては、割当てを受ける取締役が、当社に対して有する報酬請求権と新株予約権の払込金額の債務とを相殺する。

(3) 新株予約権の割当日

平成26年7月15日

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 8月13日

セントケア・ホールディング株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 齊 藤 文 男
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 野 口 昌 邦
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているセントケア・ホールディング株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、セントケア・ホールディング株式会社及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。